

2025年3月4日

## 弥<sup>や</sup>藤<sup>とう</sup>吾<sup>ご</sup>蓄電所の営業運転開始について

～再生可能エネルギー導入拡大と電力需給安定化へ向けた系統用蓄電池事業を開始～

みずほリース株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:中村昭、以下「みずほリース」)の100%子会社であるエムエル・パワー株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:荒井美智雄、以下「エムエル・パワー」)と、東北電力株式会社(本店:宮城県仙台市、取締役社長 社長執行役員:樋口康二郎、以下「東北電力」)は、本日、弥<sup>や</sup>藤<sup>とう</sup>吾<sup>ご</sup>蓄電所(埼玉県熊谷市)の営業運転を開始いたしました。

弥<sup>や</sup>藤<sup>とう</sup>吾<sup>ご</sup>蓄電所は、再生可能エネルギーの導入拡大と電力需給の安定化に向けた「系統用蓄電池事業」として、エムエル・パワーと東北電力が共同で設立した「坂東蓄電所1号合同会社」(以下「合同会社」)が建設を進めてきたものです。[\(2024年2月26日お知らせ済\)](#)

今後、弥<sup>や</sup>藤<sup>とう</sup>吾<sup>ご</sup>蓄電所内に設置した大型の蓄電池を、再生可能エネルギーによって生じる電力の余剰や不足に合わせて充放電をすることで、電力需給を安定させ、再生可能エネルギーのさらなる有効活用に繋げるとともに、蓄電池を用いた電力の売買による収益化を目指してまいります。

なお、合同会社では、韮<sup>にら</sup>塚<sup>づか</sup>蓄電所(群馬県伊勢崎市)および小<sup>こ</sup>角<sup>すみ</sup>田<sup>だ</sup>蓄電所(群馬県太田市)の建設も進めており、順次、2025年6月までに運用を開始する予定としております。

みずほリースは、社会的課題を解決するサーキュラー・ソサイエティ・プラットフォームカンパニーを目指し、再エネの発電・送電・蓄電・利用のマネジメントシステムの構築や、省エネ・エネルギー効率化ソリューション拡充に取り組んでまいります。

東北電力は、分散型エネルギーリソースを最大限活用するサービス※の提供などを通じ、事業領域拡大を図るとともに、脱炭素社会の実現を目指してまいります。

※分散型エネルギーリソース(蓄電池、EV など)を集約し、市場取引などで獲得した収益の一部をお客さまに還元するサービス。

以上

(別紙)弥<sup>や</sup>藤<sup>とう</sup>吾<sup>ご</sup>蓄電所の概要